

SASの音～

No.48
(6月)

社会医療法人春回会 井上病院
住所:長崎市宝町 6-12
SAS 専用電話:095-844-1528
睡眠専任技師:酒井・森・松本・坂口
対応時間:9:00～17:30

心地良い春が来たかと思うと、あっという間に、昼間は汗ばむ陽気の今日この頃です。CPAP ユーザーの方々も今の時期は比較的夜は快適にお休み頂いているのではないかと思います。

さて、ゴールデンウィーク明けの最初の土曜日（5月12日）にブリックホールで市民公開講座「睡眠時無呼吸って何ね？」を開催しました。肥満化が進行している現代社会において治療を要する無呼吸の患者さんはおそらくどんどん増えており、身近にありながら無視できない睡眠時無呼吸症候群 SAS の啓蒙はとても大切だと思ったからです。ただ吉嶺の拙い話だけでは見向きもされないと思いましたので、ひよんな事で知ることとなった CPAP ユーザーである芸人さん「芋洗坂係長」さんをお願いしたところ、気持よく長崎に来て頂けることになりました。

当日までに新聞広告や外来患者さんや地域の医療機関の方々に広報活動をしました、「事前申込み不要」としていたため、一体何人の来場者があるのか、全く予想が立ちません。30-40人だろうか、それとも500人以上来て入りきれなくなるのでは？などと不安がありました。

当日は開演前より多くの方が集まり、その結果約300名の方がおいでになり、国際会議場の一階席がほぼ満席となりました。まず最初にリニューアルした睡眠検査室（4月より『睡眠センター』と呼んでいます）やSAS検診の紹介を盛り込



んだ当院のプロモーションビデオ（ホームページにアップする予定です）を見て頂き、その後SASを疑う症状、様々な生活習慣病との関係、スクリーニングを含めた診断法、および治療法について解説致しました。

続いてお待ちかねの「芋洗坂係長」がパフォーマンスと共に現れ、その身体に似合わず切れの良い踊りを披露されました。そしてとても面白い話をして頂きました。すごいいびきと無呼吸があったこと、バイクの運転中に耐えられない眠気におそわれ事故を起こしそうなったこと、あまりのいびきの大きさに同室に寝ていた仕事

仲間たちから「その鼻をちょん切るぞ！」と言われたこと、検査を受けたら超重症のSASだったこと、CPAPつけたらとっても元気になったこと、全国の仕事先にはいつもCPAPを持参しホテルに入ったらまずはCPAPのセッティングをすること、そして地方から帰ったらCPAPに残ったその所々の香りを懐かしむなど、「典型的なSAS患者であり、かつまじめなCPAPユーザー」であることをお話し頂きました。一方でダイエットはまだまだ先のように、現在は「笑って踊れるデブ芸人」をしばらく貫くそうです。



その後、会場の方々の「質問の時間」となりました。「SASは遺伝するのか?」「夜間頻尿とSASは関係するのか?」「SASになると認知機能が低下するとは?」「『CPAPを導入する基準ではない。』と言われたが、どうしたら良いか?」など、いろんな質問を頂きました。

いろんな意味で多くの方々にこの疾患を知って頂けたと思いますので、まずはこの講演会は成功でした。最後にご協力して頂きました関係の方々にはこの場を借りてお礼いたします。ありがとうございました。(文責：吉嶺裕之)



PS: 今回の講演会終了後のアンケートを参考に今後の講演会を企画していきます。乞うご期待ください。(写真はホームページにアップする予定ですので、ぜひ御覧くださいね。)

☆当院ホームページ☆

(<http://www.shunkaikai.jp/sleep/>).



☆QRコード☆



SAS 診療室からのお願い

- ・CPAP ユーザーの方は、**月一度の外来受診**が必要です。受診のない場合は、機器の返却・回収となる場合もありますので、御注意下さい。当院は**予約制**になります。**15日までに当月内の御予約がない場合は、受診願いの文書をお送りさせていただくこともありますので、御了承頂き、早めの御予約をお願いします。**
- ・診察日には**御使用中のCPAP機器もしくはカード**を忘れず御持参下さい。
- ・来月の土曜 SAS 外来は **7/7(吉嶺)、7/14(吉嶺)、7/28(原田)**です。

